



2024年6月期 決算短信(日本基準)(連結)

2024年8月9日

上場会社名 株式会社 THEグローバル社
コード番号 3271 URL <https://www.the-g.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 圭司

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 岡田 一男

TEL 03-3345-6111

定時株主総会開催予定日 2024年9月27日 配当支払開始予定日 2024年9月30日

有価証券報告書提出予定日 2024年9月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期の連結業績(2023年7月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期	27,037	36.2	1,757	20.3	3,079	96.6	2,714	55.4
2023年6月期	42,393	64.6	2,205	182.4	1,566	302.2	1,746	276.7

(注) 包括利益 2024年6月期 2,665百万円 (57.2%) 2023年6月期 1,695百万円 (432.7%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年6月期	95.91		41.0	7.5	6.5
2023年6月期	61.72		39.3	4.7	5.2

(参考) 持分法投資損益 2024年6月期 百万円 2023年6月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年6月期	49,002	7,957	16.2	281.11
2023年6月期	33,243	5,292	15.9	186.96

(参考) 自己資本 2024年6月期 7,957百万円 2023年6月期 5,292百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年6月期	11,866	385	11,990	4,438
2023年6月期	12,836	19	10,102	4,689

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年6月期		0.00		0.00	0.00			
2024年6月期		0.00		29.00	29.00	820	30.2	12.4
2025年6月期(予想)		0.00		38.00	38.00		30.7	

3. 2025年6月期の連結業績予想(2024年7月1日~2025年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,538	116.5	4,951	181.7	4,170	35.4	3,507	29.2	123.92

(注) 物件の引渡時期による業績変動が大きいことから、第2四半期(累計)の連結業績予想の開示は見合わせ、通期のみの開示とさせていただきます。

注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1 社 (社名) 合同会社京橋釣鐘を営業者とする匿名組合

除外 2 社 (社名) ド

株式会社グローバル・エルシード
株式会社グローバル・キャスト

株式会社グローバル・エルシード及び株式会社グローバル・キャストは、2023年10月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により消滅しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)
 期末自己株式数
 期中平均株式数

2024年6月期	28,306,000 株	2023年6月期	28,306,000 株
2024年6月期	76 株	2023年6月期	76 株
2024年6月期	28,305,924 株	2023年6月期	28,305,924 株

(参考) 個別業績の概要

2024年6月期の個別業績(2023年7月1日～2024年6月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期	17,038		407	29.7	2,191		6,080	
2023年6月期	1,203	40.5	314	142.3	96		5	90.4

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期	214.81	
2023年6月期	0.19	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年6月期	48,968	6,241	12.7	220.52
2023年6月期	3,926	161	4.1	5.71

(参考) 自己資本 2024年6月期 6,241百万円 2023年6月期 161百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社が約束するものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により異なる可能性があります。業績の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、[添付資料]4ページの「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	3
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(リース取引関係)	13
(セグメント情報等の注記)	14
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

① 当期の概況

当連結会計年度（2023年7月1日～2024年6月30日）における我が国経済は、正常化した社会活動に伴う企業収益の改善や雇用、所得環境の改善、各種政策の効果等により緩やかに回復しております。一方で、中国経済の動向、緊迫化する中東地域をめぐる情勢等による国内景気への影響が懸念されており、物価上昇や為替動向、金融資本市場の変動等の影響には十分注意する必要があります。

当社グループが属する不動産業界において、首都圏の分譲マンション2024年1月～6月の供給戸数は9,066戸（前年同期比13.7%減）となりました。2024年6月現在の平均価格は8,199万円となりました。都区部エリアにおいては11,679万円と高水準で推移するなか、販売状況においても好調に推移しております（不動産経済研究所資料参照）。不動産投資市場は、東京は2024年第1四半期の不動産投資額が世界都市別ランキングで1位（2023年通年5位）となりました。円安環境に加えて日本は急激な金利上昇はないとの予想もあり、国内外の投資家からの収益不動産への投資意欲は旺盛な状況が継続しております（民間調査機関調べ）。

このような状況下当社グループでは、所有物件の開発と売却・販売に努め、分譲マンション4物件と収益物件14物件の売却引渡を行いました。また同時に、首都圏を中心とした分譲及び収益物件用地の仕入れ強化に努めました。

ホテル業界におきましては、国内需要は活発に推移しており、訪日外客数は順調に回復し2024年2月には300万人を超えとなりその後も増加傾向で推移しております（観光庁調べ）。当社グループが運営する京都エリアでの市内主要ホテルの2024年6月稼働率は、2019年同月と同水準の稼働率まで回復、平均客室単価においては30%を上回っております。当社グループにおきましても、昨年春に営業再開いたしました施設の稼働が回復傾向に推移しております。また、京都ホテル案件2物件を売却しております。

以上の結果、当連結会計年度における当社グループの業績は、売上高は27,037百万円（前年同期比36.2%減）、営業利益1,757百万円（前年同期比20.3%減）、経常利益3,079百万円（前年同期比96.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益2,714百万円（前年同期比55.4%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[分譲マンション事業]

分譲マンション事業におきましては、「ウィルローズ府中宮町」、「ウィルローズ横浜鶴見」「ウィルローズ大宮Kan」等合計179戸の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高8,968百万円（前年同期比55.0%増）、営業利益806百万円（前年同期比19.1%増）となりました。

[収益物件事業]

収益物件事業におきましては、「松濤プロジェクト」、「八丁堀Ⅲプロジェクト」、「大宮大成町プロジェクト」等、収益物件14物件の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高15,086百万円（前年同期比19.4%減）、営業利益1,711百万円（前年同期比42.6%減）となりました。

[販売代理事業]

販売代理事業におきましては、グループ会社開発及び他社開発物件の販売代理を行い、地域別の引渡実績は、東京都区部60物件99戸、東京都下9物件90戸、神奈川県6物件56戸、埼玉県5物件55戸、千葉県4物件6戸、合計84物件306戸となりました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高975百万円（前年同期比16.4%増）、営業利益502百万円（前年同期比45.0%増）となりました。

[建物管理事業]

建物管理事業におきましては、2024年6月30日現在のマンション管理戸数が3,981戸となります。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高496百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益58百万円（前年同期比27.5%増）となりました。

[ホテル事業]

ホテル事業におきましては、京都におけるホテル運営及び京都プロジェクト2物件の引渡しなどを行いました。
以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高2,179百万円（前年同期比87.1%減）、営業利益258百万円（前年同期は営業損失605百万円）となりました。

[その他]

その他としましては、不動産賃貸事業等による収入であります。
以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高10百万円（前年同期比83.9%減）、営業利益5百万円（前年同期は営業損失15百万円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

総資産は49,002百万円となり、前連結会計年度末に比べ15,758百万円増加いたしました。これは主に販売用不動産の増加2,350百万円、仕掛販売用不動産の増加12,398百万円によるものであります。

負債は41,044百万円となり、前連結会計年度末に比べ13,093百万円増加いたしました。これは主に有利子負債の増加12,271百万円によるものであります。

純資産は7,957百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,665百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益により利益剰余金が2,714百万円増加したことによるものであります。

これにより、自己資本比率は16.2%（前期は15.9%）、1株当たり純資産額は281.11円（前期は186.96円）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて251百万円減少し、4,438百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益3,036百万円を計上した一方、主に棚卸資産の増加額△14,755百万円、受取配当金△2,013百万円により、11,866百万円の支出(前期は12,836百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、主に投資有価証券の取得による支出447百万円、出資金の回収による収入91百万円により、385百万円の支出(前期は19百万円の収入)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、主に長期借入れによる収入20,151百万円、長期借入金の返済による支出8,949百万円、短期借入金の純増加額807百万円、社債の償還による支出100百万円により、11,990百万円の収入(前期は10,102百万円の支出)となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関係指標の推移

	2023年6月期	2024年6月期
自己資本比率 (%)	15.9	16.2
時価ベースの自己資本比率 (%)	22.0	28.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	1.9	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	16.8	—

自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー/利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により記載しております。

(注2) 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数により算出しております。

(注3) キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

(注4) 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利払いにつきましては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(注5) 2023年6月期及び2024年6月期の時価ベースの自己資本比率につきましては、最終株式取引日である2023年6月30日及び2024年6月28日の終値より算出しております。

(注6) 2024年6月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)、インタレスト・カバレッジ・レシオにつきましては、営業キャッシュ・フローがマイナスであるため、記載しておりません。

(4) 今後の見通し

2025年6月期の連結業績につきましては、分譲マンション事業及び収益物件事業の二本柱を中心に推進し、売上高58,538百万円(前期比116.5%増)、営業利益4,951百万円(前期比181.7%増)、経常利益4,170百万円(前期比35.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益3,507百万円(前期比29.2%増)を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題としており、配当金については配当性向30%以上を目処として業績に応じた利益還元を積極的に行うことを基本方針としながら、将来の事業展開と財務体質強化のための内部留保の充実等を勘案のうえ、総合的に決定する方針であります。

このような基本方針のもと、当期の業績の状況、経営環境等を総合的に勘案した結果、1株当たり年間配当金29円(中間一円、期末29円)を予定しており、この場合の配当性向は30.2%となる見込みであります。

また、次期の配当につきましては、1株当たり年間配当金38円(中間一円、期末38円)を予定しており、この場合の配当性向は30.7%となる見込みであります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を重視し、当面、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適時適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当連結会計年度 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,743,919	4,495,380
売掛金	62,394	55,829
販売用不動産	2,461,460	4,811,686
仕掛販売用不動産	23,636,398	36,035,363
前払費用	862,891	551,959
その他	467,693	1,555,275
流動資産合計	32,234,758	47,505,494
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	158,663	158,993
減価償却累計額	△116,004	△121,299
建物及び構築物 (純額)	42,658	37,693
その他	84,921	82,497
減価償却累計額	△68,198	△61,170
その他 (純額)	16,723	21,327
有形固定資産合計	59,382	59,020
無形固定資産	8,583	11,577
投資その他の資産		
投資有価証券	304,557	660,714
長期貸付金	326,048	352,017
繰延税金資産	194,185	318,384
その他	485,002	487,932
貸倒引当金	△368,937	△392,986
投資その他の資産合計	940,856	1,426,063
固定資産合計	1,008,822	1,496,661
資産合計	33,243,581	49,002,155

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当連結会計年度 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	712,848	1,762,689
短期借入金	10,946,000	11,753,383
1年内返済予定の長期借入金	8,574,159	7,963,000
1年内償還予定の社債	100,000	272,000
未払金	566,271	307,386
未払法人税等	36,051	286,816
未払消費税等	757,239	106,428
前受金	1,033,450	1,268,797
賞与引当金	9,711	11,695
賃借契約損失引当金	—	9,600
その他	240,914	422,535
流動負債合計	22,976,645	24,164,331
固定負債		
社債	1,740,000	1,568,000
長期借入金	3,164,319	15,259,286
繰延税金負債	5,966	—
賃借契約損失引当金	—	29,600
その他	64,459	23,736
固定負債合計	4,974,744	16,880,622
負債合計	27,951,389	41,044,953
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,924,376	1,924,376
資本剰余金	2,870,605	2,870,605
利益剰余金	647,098	3,362,023
自己株式	△33	△33
株主資本合計	5,442,046	8,156,971
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	657	1,489
為替換算調整勘定	△150,511	△201,258
その他の包括利益累計額合計	△149,854	△199,769
純資産合計	5,292,191	7,957,202
負債純資産合計	33,243,581	49,002,155

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
売上高	42,393,029	27,037,074
売上原価	36,530,731	21,455,721
売上総利益	5,862,297	5,581,353
販売費及び一般管理費	3,656,483	3,823,483
営業利益	2,205,814	1,757,869
営業外収益		
受取利息	2,408	77
受取配当金	4,766	2,013,282
受取手数料	7,070	20,898
解約精算金	6,129	18,270
為替差益	49,567	52,117
受取地代家賃	21,777	56,533
貸倒引当金戻入額	55,314	1,800
雇用調整助成金	1,495	—
その他	14,176	11,422
営業外収益合計	162,706	2,174,401
営業外費用		
支払利息	635,021	562,081
支払手数料	136,986	281,290
社債発行費	19,687	2,300
その他	10,051	6,709
営業外費用合計	801,746	852,380
経常利益	1,566,774	3,079,890
特別利益		
固定資産売却益	100,000	909
受取保険金	80,539	—
特別利益合計	180,539	909
特別損失		
固定資産除売却損	576	4,603
役員退職慰労金	100,000	—
ゴルフ会員権売却損	3,600	—
事業撤退損	24,501	—
賃借契約損失引当金繰入	—	39,200
特別損失合計	128,678	43,803
税金等調整前当期純利益	1,618,636	3,036,995
法人税、住民税及び事業税	36,350	452,236
法人税等調整額	△164,627	△130,165
法人税等合計	△128,276	322,070
当期純利益	1,746,912	2,714,925
親会社株主に帰属する当期純利益	1,746,912	2,714,925

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
当期純利益	1,746,912	2,714,925
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	427	832
為替換算調整勘定	△52,127	△50,746
その他の包括利益合計	△51,700	△49,914
包括利益	1,695,212	2,665,010
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,695,212	2,665,010
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,924,376	2,870,605	△1,099,814	△33	3,695,133
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			1,746,912		1,746,912
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	1,746,912	—	1,746,912
当期末残高	1,924,376	2,870,605	647,098	△33	5,442,046

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	230	△98,384	△98,154	3,596,978
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益				1,746,912
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	427	△52,127	△51,700	△51,700
当期変動額合計	427	△52,127	△51,700	1,695,212
当期末残高	657	△150,511	△149,854	5,292,191

当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,924,376	2,870,605	647,098	△33	5,442,046
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			2,714,925		2,714,925
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	2,714,925	—	2,714,925
当期末残高	1,924,376	2,870,605	3,362,023	△33	8,156,971

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	657	△150,511	△149,854	5,292,191
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益				2,714,925
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	832	△50,746	△49,914	△49,914
当期変動額合計	832	△50,746	△49,914	2,665,010
当期末残高	1,489	△201,258	△199,769	7,957,202

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,618,636	3,036,995
減価償却費	53,380	29,233
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△198,242	△1,920
賞与引当金の増減額 (△は減少)	801	1,984
受取利息	△2,408	△77
受取配当金	△4,766	△2,013,282
支払利息	635,021	562,081
為替差損益 (△は益)	△51,444	△52,117
雇用調整助成金	△1,495	—
受取保険金	△80,539	—
役員退職慰労金	100,000	—
固定資産除売却損益 (△は益)	△99,424	3,694
事業撤退損	24,501	—
賃借契約損失引当金繰入	—	39,200
売上債権の増減額 (△は増加)	△30,053	6,565
棚卸資産の増減額 (△は増加)	10,711,427	△14,755,186
前払費用の増減額 (△は増加)	△273,372	299,634
長期前払費用の増減額 (△は増加)	4,000	△2,395
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△105,772	△207,372
仕入債務の増減額 (△は減少)	174,349	776,174
未払金の増減額 (△は減少)	351,858	△202,477
未払消費税等の増減額 (△は減少)	550,934	△650,810
未払費用の増減額 (△は減少)	△44,554	18,532
前受金の増減額 (△は減少)	225,148	235,346
預り金の増減額 (△は減少)	20,790	162,582
その他	166,361	155,883
小計	13,745,137	△12,557,731
利息及び配当金の受取額	7,175	1,583,524
利息の支払額	△764,725	△522,808
雇用調整助成金の受取額	1,495	—
消費税の還付額	38,754	106,095
役員退職慰労金の支払額	△100,000	—
法人税等の還付額	—	16,981
法人税等の支払額	△91,769	△492,913
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,836,067	△11,866,850

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	9,600	9,502
定期預金の預入による支出	△28,400	△12,000
会員権の売却による収入	900	—
有形固定資産の売却による収入	100,000	909
有形及び無形固定資産の取得による支出	△5,265	△29,088
出資金の回収による収入	470	91,293
出資金の払込による支出	△200	△25
債権譲渡による収入	70,000	—
差入保証金の回収による収入	123,747	44,154
差入保証金の差入による支出	△48,902	△40,652
保険積立金の払戻による収入	100,008	—
保険積立金の積立による支出	△2,860	△2,667
投資有価証券の取得による支出	△300,000	△447,200
投資活動によるキャッシュ・フロー	19,097	△385,774
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,957,384	807,383
長期借入れによる収入	7,288,813	20,151,809
長期借入金の返済による支出	△19,380,082	△8,949,292
社債の発行による収入	1,480,312	97,470
社債の償還による支出	△1,400,000	△100,000
リース債務の返済による支出	△49,343	△16,491
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,102,914	11,990,879
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,815	10,707
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,758,066	△251,037
現金及び現金同等物の期首残高	1,931,350	4,689,417
現金及び現金同等物の期末残高	4,689,417	4,438,379

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

1. ファイナンス・リース取引

所有権移転外ファイナンス・リース取引

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

2. オペレーティング・リース取引

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

(借手側)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当連結会計年度 (2024年6月30日)
1年内	184,274	128,274
1年超	705,473	596,790
合計	889,748	725,065

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

当社グループにおいて、各事業会社は、それぞれが取扱う商品・サービスに関する戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業会社を基礎とした商品・サービス別のセグメントから構成されており、「分譲マンション事業」（主に株式会社THEグローバル社）、「収益物件事業」（主に株式会社THEグローバル社）、「販売代理事業」（株式会社グローバル住販）、「建物管理事業」（株式会社グローバル・ハート）及び「ホテル事業」（主に株式会社THEグローバル社、株式会社グローバル・ホテルパートナーズ）の5つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用される会計方針と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント					
	分譲マンション事業	収益物件事業	販売代理事業	建物管理事業	ホテル事業	計
売上高						
一時点で移転される財及びサービス	5,786,268	13,945,152	837,908	—	16,835,854	37,405,184
一定の期間にわたり移転される財及びサービス	—	13,243	—	473,321	—	486,565
顧客との契約から生じる収益	5,786,268	13,958,396	837,908	473,321	16,835,854	37,891,749
その他の収益	—	4,758,353	—	—	12,502	4,770,855
外部顧客への売上高	5,786,268	18,716,749	502,498	473,321	16,848,356	42,327,194
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	335,410	—	—	335,410
計	5,786,268	18,716,749	837,908	473,321	16,848,356	42,662,605
セグメント利益又は損失(△)	676,602	2,982,189	346,422	46,074	△605,239	3,446,050
セグメント資産	10,880,535	19,896,143	441,011	150,875	1,521,917	32,890,484
セグメント負債	7,276,266	20,059,089	404,722	75,166	246,697	28,061,942
その他の項目						
減価償却費	13,665	27,297	5,527	86	925	47,502
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	—	—	—	—	5,169	5,169

	その他(注)1	調整額(注)2	連結財務諸表計上額(注)3
売上高			
一時点で移転される財及びサービス	10,284	△335,410	37,080,058
一定の期間にわたり移転される財及びサービス	—	—	486,565
顧客との契約から生じる収益	10,284	△335,410	37,566,623
その他の収益	55,550	—	4,826,406
外部顧客への売上高	65,834	—	42,393,029
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	△335,410	—
計	65,834	△335,410	42,393,029
セグメント利益又は損失(△)	△15,651	△1,224,584	2,205,814
セグメント資産	77,179	275,918	33,243,581
セグメント負債	7,511	△118,063	27,951,389
その他の項目			
減価償却費	—	5,878	53,380
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	—	9,040	14,209

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおりません。
2. 調整額は以下のとおりであります。
- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,224,584千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。
 - (2) セグメント資産の調整額275,918千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産7,768,217千円及びセグメント間取引消去△7,492,299千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社が保有する貸付金等であります。
 - (3) セグメント負債の調整額△118,063千円には、各報告セグメントに配分していない全社負債7,069,460千円及びセグメント間取引消去△7,187,523千円が含まれております。全社負債は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社が保有する借入金等であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
4. 「その他の収益」には、「リース取引に関する会計基準(企業会計基準第13号 2007年3月30日)」に基づく賃貸収入及び「特別目的会社を利用した不動産の流動化に係る譲渡人の会計処理に関する実務指針(会計制度委員会報告第15号 2014年11月4日)」に基づく不動産(信託受益権を含む)の売却収入等が含まれております。

当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位: 千円)

	報告セグメント					
	分譲マンション事業	収益物件事業	販売代理事業	建物管理事業	ホテル事業	計
売上高						
一時点で移転される財及びサービス	8,968,098	10,067,686	975,594	—	2,164,248	22,175,627
一定の期間にわたり移転される財及びサービス	—	69,701	—	496,891	—	566,592
顧客との契約から生じる収益	8,968,098	10,137,387	975,594	496,891	2,164,248	22,742,220
その他の収益	—	4,948,702	—	—	15,379	4,964,081
外部顧客への売上高	8,968,098	15,086,090	295,761	496,891	2,179,627	27,026,469
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	679,832	—	—	679,832
計	8,968,098	15,086,090	975,594	496,891	2,179,627	27,706,302
セグメント利益又は損失(△)	806,012	1,711,395	502,337	58,765	258,324	3,336,835
セグメント資産	20,623,697	27,568,473	656,972	212,414	268,612	49,330,169
セグメント負債	17,185,255	23,226,766	568,315	79,932	88,340	41,148,610
その他の項目						
減価償却費	799	8,589	5,205	214	1,522	16,331
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	—	—	—	5,967	—	5,967

	その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
売上高			
一時点で移転される財及びサービス	10,605	△679,832	21,506,399
一定の期間にわたり移転される財及びサービス	—	—	566,592
顧客との契約から生じる収益	10,605	△679,832	22,072,992
その他の収益	—	—	4,964,081
外部顧客への売上高	10,605	—	27,037,074
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	△679,832	—
計	10,605	△679,832	27,037,074
セグメント利益又は損失(△)	5,518	△1,584,484	1,757,869
セグメント資産	62,831	△390,845	49,002,155
セグメント負債	10,776	△114,432	41,044,953
その他の項目			
減価償却費	—	12,901	29,233
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	—	23,120	29,088

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおりません。
2. 調整額は以下のとおりであります。
- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,584,484千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。
 - (2) セグメント資産の調整額△390,845千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産5,681,041千円及びセグメント間取引消去△6,071,886千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社が保有する貸付金等であります。
 - (3) セグメント負債の調整額△114,432千円には、各報告セグメントに配分していない全社負債5,766,418千円及びセグメント間取引消去△5,880,850千円が含まれております。全社負債は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社が保有する借入金等であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
4. 「その他の収益」には、「リース取引に関する会計基準(企業会計基準第13号 2007年3月30日)」に基づく賃貸収入及び「特別目的会社を利用した不動産の流動化に係る譲渡人の会計処理に関する実務指針(会計制度委員会報告第15号 2014年11月4日)」に基づく不動産(信託受益権を含む)の売却収入等が含まれております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)		当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	
1株当たり純資産額	186円96銭	1株当たり純資産額	281円11銭
1株当たり当期純利益	61円72銭	1株当たり当期純利益	95円91銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2023年6月30日)	当連結会計年度末 (2024年6月30日)
純資産の部の合計額(千円)	5,292,191	7,957,202
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末純資産額(千円)	5,292,191	7,957,202
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	28,305,924	28,305,924

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,746,912	2,714,925
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,746,912	2,714,925
普通株式の期中平均株式数(株)	28,305,924	28,305,924
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。